

2013年度第2四半期連結累計期間 連結決算及び業績予想(国際会計基準)

(単位:億円)

損益の状況	2013年度第2四半期累計期間			2012年度第2四半期累計期間	前年同期比	増減率(%)	2013年度業績予想		
	第1四半期	第2四半期	累計期間	修正予想			進捗率(%)	期初予想	
売上高(*1)	31,249	32,561	63,810	51,166	12,644	25%	137,000	47%	137,000
売上総利益	1,616	1,508	3,124	2,716	408	15%	6,600	47%	6,500
販売費及び一般管理費	▲1,087	▲1,226	▲2,313	▲1,956	▲357	-	▲4,850	-	▲4,700
貸倒引当金繰入額	▲14	0	▲14	▲12	▲2	-	▲50	-	▲50
営業利益(*1)	515	281	797	748	49	7%	1,700	47%	1,750
支払利息(受取利息控除後)	▲46	▲55	▲101	▲95	▲6	-	▲250	-	▲300
受取配当金	74	55	129	123	5	-	300	-	250
有価証券損益	13	3	15	21	▲5	-			
固定資産損益	0	▲37	▲36	8	▲45	-	▲50	-	100
その他の損益	19	▲5	14	9	5	-			
持分法による投資損益	262	349	611	456	155	-	1,000	-	1,000
税引前利益	837	591	1,428	1,270	158	12%	2,700	53%	2,800
法人所得税	▲184	▲109	▲294	▲326	32	-	▲550	-	▲650
四半期利益	653	482	1,135	944	190	20%	2,150	53%	2,150
親会社の所有者に帰属する四半期利益	641	477	1,118	911	207	23%	2,100	53%	2,100
非支配持分に帰属する四半期利益	12	5	17	33	▲16	-	50	-	50
収益	16,553	17,028	33,581	23,812	9,769	41%			
実態営業利益(*2)	529	281	811	760	51	7%	1,750	46%	1,800
基礎収益(*3)	818	630	1,449	1,244	205	16%	2,800	52%	2,750

(*1)「売上高」は、取引形態の如何にかかわらず当社及び連結子会社の関与する全ての取引を含んでおります。
「売上高」及び「営業利益」は、投資家の便宜を考慮し、日本の会計慣行に従った自主的な表示であり、IFRSで求められている表示ではありません。
(*2) 実態営業利益=売上総利益+販売費及び一般管理費
(*3) 基礎収益=実態営業利益+支払利息(受取利息控除後)+受取配当金+持分法による投資損益

資産、負債及び資本の状況	2013年9月末	2013年3月末(*5)	前年度末比	2014年3月末見通し
連結総資産(流動資産)	66,480	61,158	5,322	-
(非流動資産)	(30,479)	(31,744)	(▲1,265)	-
連結資本	13,900	12,030	1,870	14,500程度
連結有利子負債	30,751	27,536	3,214	-
連結ネット有利子負債	23,644	18,559	5,084	26,500程度
ネットD/Eレシオ(*4)	1.70倍	1.54倍	+0.16ポイント	1.8倍程度

(*4) ネットD/Eレシオ=連結ネット有利子負債/連結資本
(*5) 2013年3月末の計数は、新会計基準適用後の計数に修正再表示しております。

キャッシュ・フローの状況	2013年度第2四半期累計期間	2012年度第2四半期累計期間	主要指標の推移			2013年度第3・第4四半期(見通し)	
営業活動によるCF	743	1,241	為替(YEN/US\$) 4月-9月平均	98.85	79.41	19.44円(24%)の円安	98
投資活動によるCF	▲5,138	▲1,568	9月 末	97.75	77.60	20.15円(26%)の円安	98
フリーキャッシュ・フロー	▲4,395	▲327	JPY TIBOR(%) 4月-9月平均	0.231	0.333	0.102%(31%)の低下	0.3
財務活動によるCF	2,458	1,640	US\$ LIBOR(%) 4月-9月平均	0.268	0.445	0.177%(40%)の低下	0.3
為替変動の影響	84	▲137	WTI(ドル/バレル) 4月-9月平均	100	93	7ドル(8%)の上昇	100
現金及び現金同等物の増減	▲1,853	1,176	LME銅(ドル/トン) 4月-9月平均	7,110	7,785	675ドル(9%)の下落	7,400

連結対象会社黒字/赤字の状況	2013年度第2四半期累計期間			2012年度第2四半期累計期間			前年同期比		
	国内	海外		国内	海外		国内	海外	
黒字会社数	331	114	217	333	118	215	▲2	▲4	2
黒字会社額	1,330	316	1,014	1,129	295	834	201	21	180
赤字会社数	118	36	82	106	25	81	12	11	1
赤字会社額	▲79	▲17	▲63	▲120	▲44	▲77	41	27	14
会社数合計	449	150	299	439	143	296	10	7	3
ネット損益	1,251	299	952	1,009	251	757	242	48	194
黒字会社数比率	73.7%	76.0%	72.6%	75.9%	82.5%	72.6%	▲2.2%	▲6.5%	0.0%

2013年度第2四半期連結累計期間 連結決算の概要

【連結決算の概要】
○ 当第2四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比207億円(23%)増益の1,118億円となり、2013年度の業績予想2,100億円に対し、進捗率は53%となった。

○ 連結資本は、利益の積み上げ等を主因として、前年度末比1,870億円増加の1兆3,900億円となった。

○ 連結ネット有利子負債は、新規投資の実行により、前年度末比5,084億円増加の2兆3,644億円となり、この結果、ネットD/Eレシオは前年度末比0.16ポイント上昇の1.70倍となった。

【損益の状況】
①売上高... 6兆3,810億円
穀物の取扱数量増加を主因として、前年同期比1兆2,644億円の増収となった。円安の影響は5,800億円程度の増収。主な増収セグメントは食料(+7,616億円)、海外支店・現地法人(+4,841億円)。

②売上総利益... 3,124億円
前年同期比408億円の増益となった。円安の影響は280億円程度の増益。下表参照。

③販売費及び一般管理費... ▲2,313億円
人件費を中心に前年同期比357億円の増加となった。円安の影響は160億円程度の増加。

④貸倒引当金繰入額... ▲14億円
前年同期比2億円の悪化となった。

⑤支払利息(受取利息控除後)... ▲101億円
前年同期比6億円の悪化となった。

⑥受取配当金... 129億円
エネルギー案件を中心に前年同期比5億円の増加となった。

⑦有価証券損益... 15億円
有価証券売却損益の減益を主因として、前年同期比5億円の減益となった。

⑧固定資産損益... ▲36億円
前年同期比45億円の悪化となった。
・固定資産売却損益 23億円(前年同期比 +8億円)
・固定資産評価損 ▲59億円(前年同期比 ▲53億円)

⑨その他の損益... 14億円
為替・デリバティブ取引関連の改善等により、前年同期比5億円の増益となった。

⑩持分法による投資損益... 611億円
持分法による投資損益は前年同期比155億円の増益となった。主な内訳は以下の通り。
チリ銅事業 102億円(前年同期比 ▲6億円)
豪州鉄鉱石事業 75億円(前年同期比 +76億円)
伊藤忠丸紅鉄鋼 63億円(前年同期比 +6億円)
Westlake 21億円(前年同期比 +4億円)
(米国自動車販売金融事業)
JELLINBAH GROUP 17億円(前年同期比 ▲15億円)
(豪州石炭事業)
Maynilad 14億円(前年同期比 +14億円)
(マニラ首都圏上下水道事業)

(単位:億円)

オペレーティング・セグメントの状況	売上総利益			親会社の所有者に帰属する四半期利益			主な増減要因	親会社の所有者に帰属する当期利益		
	当四半期累計期間	前年同期	増減	当四半期累計期間	前年同期	増減		通期修正予想	通期期初予想	期初予想対比増減
食料	636	488	149	68	42	25	穀物の取扱数量増加及びGavilonの新規連結による影響等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	150	300	▲150
化学品	146	140	6	38	35	2	中国向け液晶パネル製造装置及び太陽光モジュールの取扱数量増加等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	80	100	▲20
エネルギー	252	277	▲25	187	168	18	石油トレーディング分野での採算悪化により、売上総利益は減益となったものの、受取配当金の増加及び持分法による投資損益の増益により、四半期利益は増益。	390	390	0
金属	82	86	▲4	204	176	28	商品価格下落により、売上総利益は減益となったものの、負ののれんの利益計上等による持分法による投資損益の増益により、四半期利益は増益。	270	190	80
輸送機	320	248	73	107	90	17	自動車関連事業を中心とした円安による収益改善等により、売上総利益が増益となったことに加え、持分法による投資損益も増益となったことから、四半期利益は増益。	180	180	0
電力・インフラ	126	129	▲3	175	108	66	海外電力EPC案件の減益を主因として、売上総利益は減益となったものの、海外電力事業における持分法による投資損益の増益により、四半期利益は増益。	300	250	50
プラント・産業機械	167	104	63	33	33	▲0	繊維プラント関連案件における増益等により、売上総利益は増益となったものの、前年同期にデリバティブ取引による利益があったことの影響等により、四半期利益は横ばい。	100	100	0
ライフスタイル・紙パルプ	284	298	▲14	54	44	10	紙・板紙製品事業やムシバルブ事業の採算が悪化したことにより、売上総利益は減益となったものの、持分法による投資損益の増益により、四半期利益は増益。	130	130	0
情報・金融・不動産	380	361	19	48	64	▲16	MXモバイリングの新規連結により、売上総利益は増益となったものの、持分法による投資損益の減益等により、四半期利益は減益。	150	120	30
海外支店・現地法人	791	612	180	159	128	30	米国会社での増益及び円安の影響等により、売上総利益、四半期利益ともに増益。	220	220	0
全社及び消去等	▲62	▲27	▲35	46	22	24	金利収支の改善等により、四半期利益は増益。	130	120	10
連結合計	3,124	2,716	408	1,118	911	207		2,100	2,100	0

2013年度業績予想の概要

◎ 2013年度の親会社の所有者に帰属する当期利益は期初予想通り2,100億円の見込み。
◎ 2013年度の年間配当金は、親会社の所有者に帰属する当期利益が2,100億円の見込みであることから、連結配当性向を20%以上とする配当方針に基づき、25円とする予定。(なお、中間配当金については12.5円で決議済み)